



## 「ひとにも自分にも やさしく生きる」

～人権を守ることの大切さ～

講師

香山 リカさん

精神科医・立教大学現代心理学部教授。1960年北海道生まれ。東京医科大学卒業。  
豊富な臨床経験を活かして、現代人の心の問題を中心に各メディアで幅広く活躍中。  
専門は精神病理学。

### 人権センター公開講座（県民講座2017）

日時 平成30年2月10日（土） 13:30～15:00

会場 小郡市生涯学習センター セタホール  
（小郡市大板井1180-1）

手話通訳あり  
要約筆記あり  
入場無料

今回の公開講座は、福岡県民講座と合同開催で、精神科医の「香山リカさん」を講師にお招きします。多くの臨床経験を持つ香山さんに、様々な人権課題をもつ方々の声を紹介して頂き、その実態や課題からお互いの「幸せ」「人権」を認め合うことがどんなに大切なことかを考えてみたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

小郡市人権教育啓発センターには、市民の皆さんに様々な人権について考えていただくために、人権に関するDVDや図書を揃えて学習できる情報室や会議室があります。

また、ロビーでは様々な人権課題をテーマにしたパネルを展示しています。みんなの人権が尊重され、幸せに生きることができる社会をつくるためにどうすればいいかを考えるきっかけにいただけたらと思います。

#### 【問い合わせ】

##### ■主催

◇（公財）福岡県人権啓発情報センター：春日市原町3-1-7

TEL：092-584-1271

◇小郡市人権教育啓発センター：小郡市小郡296

TEL：0942-80-1080



## みんなが幸せに生きていくことができる社会であるために…

小郡市教育委員会が平成28年度に募集した人権作品の中から小郡市立  
三国中学校二年生（当時）福永寛大さんの作文を紹介します。

### － 陰口をなくすために －

ぼくは、「あしなが」という絵本を読みました。この本の主人公、あしながは、すらりとした美しい犬です。あしながは、のら犬たちにきらわれていました。「でっかい家にすんで、すごいごちそうを食べてる」「子犬や子ねこを食べてる」と、うわさをされていました。しかし、あしながも「のら」だったことを、他ののら犬たちは知り、あしながとのら犬たちは、仲良くなっていきます。

この「あしなが」は、小さい子どもが読む絵本です。でも、ぼくは、日常的に身のまわりで起きていることが、よく表現されていると思いました。

まず、ぼくが小学生の時、あしながと同じように嫌われている人がいました。その人は、「すぐに暴力をふるう。」「女子にだけやさしくしている。」「嫌いな人に嫌なことをしている。」などと言われていました。ぼくは、最初はそんなことはしないし、とても一生懸命で、いい人だと思っていました。しかし、何人もの友だちからそう言われるうちに、いつの間にか同じ悪口を陰で言うようになっていました。

そして、ある年の席がえで、その人と同じ班になりました。とてもいやだと思いました。その人が、「よろしくね」と言ったので、そんなに悪い人じゃないかもしれないと思って、「よろしく」といいました。けっきょくその人は問題もおこさず、優しく、いい友だちになりました。だから、人をうわさだけで判断してはいけないと思いました。自分から話しかけて、その人がどんな人なのかを見極めようと思いました。

こんなことがあったからこそ、ぼくはこの「あしなが」にその人を重ねて、とても感動したのだと思います。この本は、弟に読んでほしいとたのまれて読んであげた本だったのですが、その後、くり返しくり返し読みました。

この絵本は、子どもも読める本ですが、小学生や中学生にも読んで欲しいです。この絵本から学ぶことは、とても多いと思います。

一番大事だと思うのは、陰口やうわさをうのみにしない事です。自分で本当のことを探してみないと、信じてはいけません。そして、陰口をやめさせることも大切です。やめさせないと意味がありません。この絵本では、ある一匹の犬が、あしながが良い犬だということを知り、仲間ののら犬をあしながに会わせました。そして、あしながとみんなは仲良くなりました。

これは、一つのやり方としてとてもいい方法だと思います。だから、人が理由もなくきらわれないように、根も葉もないうわさや陰口がなくなるように、この「あしなが」を見なりたいです。小学生のころの一人の友だちは、もうみんなと楽しく過ごしています。全員がそうなれるように、生活を考えていきたいです。

**寛大さんは陰口やうわさをうのみにしない事が一番大事だと気づきました。  
そして陰口やうわさをやめさせることも大切だと行動にうつそうとしています。  
寛大さんは、相手の思いに気づくこと、正しく知ること、そして行動すること…  
人権を守るために必要な事を教えてくれています。**





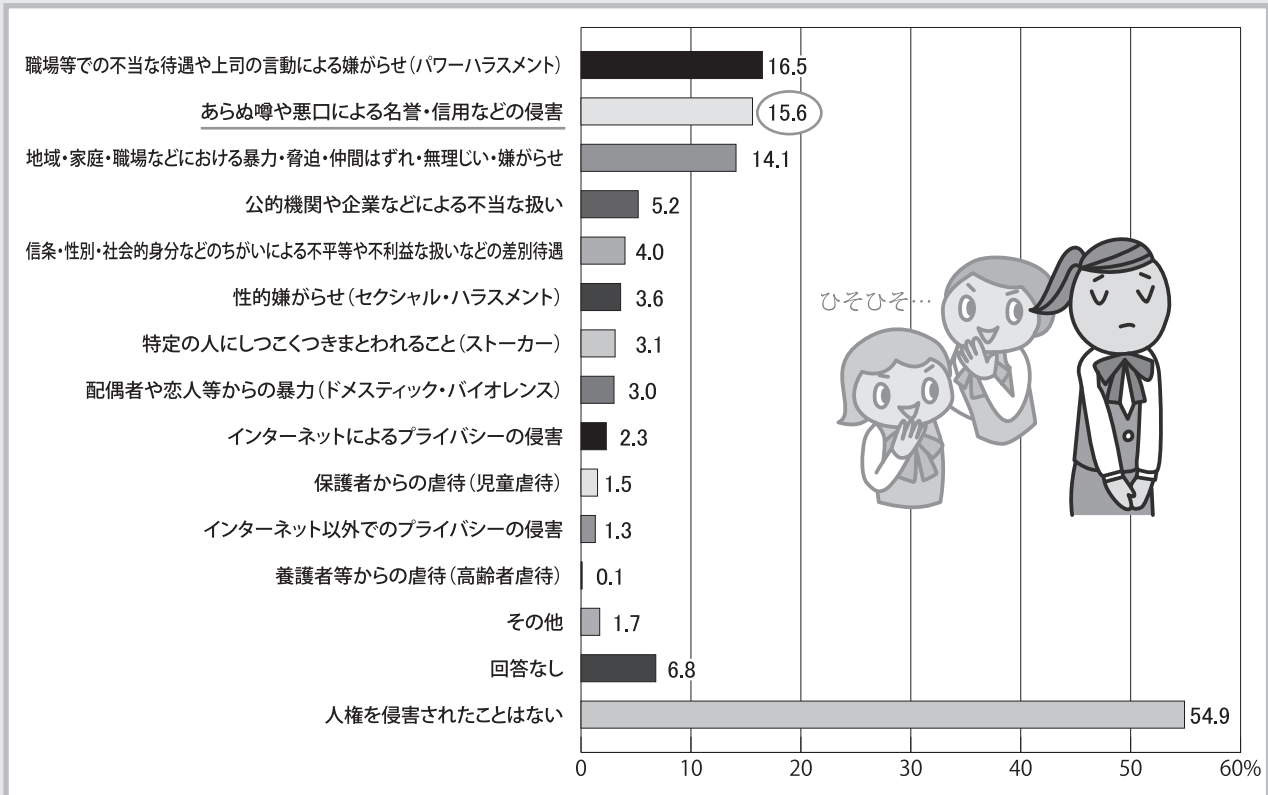
## あなたは、うわさなどで嫌な思いをしたことはありませんか？

福岡県では平成28（2016）年に「人権問題に関する県民意識調査」を実施しました。その中の「人権を侵害された経験とその内容」に関する調査では、「職場等での不当な待遇や上司の言動による嫌がらせ（パワーハラスメント）」の16.5%に続いて、「あらぬ噂や悪口などによる名誉・信用などの侵害」の15.6%が多い結果となっています。これは、「おかしいな？」「本当かな？」と気付いても、見て見ぬふりをしたり、安易に同調したりすることで人権を傷つけられ、苦しんでいる人がいるという事です。

### 「人権を侵害された経験とその内容」（複数回答）

福岡県「人権問題に関する県民意識調査」平成28年7月調査より

全体（有効調査票=1,954）



私たちの日常（社会）は、様々な人とのつながりで成り立っています。だからこそ、「わたしも大切、あなたも大切」という人権の視点で自分の言動を振り返ったり、おかしいことをおかしいと言える関係づくりが必要なのです。

そのことが、人権作文で紹介した福永寛大さんのように“解決のために行動する”という事ではないでしょうか？

～みんなが幸せに生きていくことができる社会であるために  
あなたにできる“行動”を考えてみましょう。～





# 人権センターライブラリー

## 「意識と人権」

～あなたの思いを わたしのものに～

多くの人権課題に共通する根っこの部分は、私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」です。誰もが他者の排除や差別がよくないことは理解しています。その一方で、自分に関わりがない出来事は他人事のように感じたり、気づかずに他者を排除したり傷つけることもあります。このドラマでは、主人公が、息子の友だちを思う純粋な気持ちや、他国から越してきた隣人との関わりを通して、自分の誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちをわかろうとすることの大切さを描いています。

## 「ほんとの空」

(DVD)



《テーマ》人権全般  
《上映時間》36分

## 「部落差別解消推進法—積極的活用のために—Q&A」



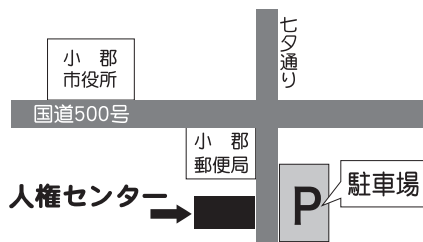
(図書)

2016年12月「部落差別の解消の推進に関する法律」（「部落差別解消推進法」）が成立しました。この法律では、部落差別の存在を国が認め、差別の解消を推進しなければならないと明記されています。現在も部落差別によって悩み、苦しい思いをしている方がいます。部落差別のない一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けて、自分自身に何ができるのか、考えてみませんか？この図書では、法律の制定までの過程と背景、具体的な提案を一問一答式で詳しく説明していますので、ぜひご覧ください！

### 人権センター図書・ビデオ利用について

- ①貸出数……1回につき 5冊 (本)
- ②貸出期間…2週間
- ③手続き……貸出簿に必要事項記入

- ★このほかにも様々な人権問題をテーマにした図書やDVDを揃えています。
- ★皆様のご利用をお待ちしています。



## 小郡市人権教育啓発センター

(所在地) 〒838-0141 小郡市小郡296  
(電話&FAX) 0942-80-1080 (直通)  
(Eメール) dotai@city.ogori.lg.jp  
(ホームページ) <http://www.city.ogori.fukuoka.jp/>  
【ホーム>観る・学ぶ・人権>人権教育啓発センター】

